

環境基本計画検討部会 会議録

1. 会議名 平成 27 年度 第 12 回東久留米市環境基本計画検討部会
2. 日 時 平成 27 年 10 月 30 日（木） 午後 13 時 30 分から午後 16 時 30 分
3. 場 所 市役所 3 階 議会会議室
4. 出席委員氏名（敬称略）重藤さわ子（部会長）、水戸部啓一（副部会長）、田中直子、豊福正己、米村ひみ子、
5. 欠席委員氏名（敬称略）遠藤毅彦、小泉勝巳
6. 事務局職員名 小平卓係長（計画調整係）、藤井華子主事（計画調整係）
7. コンサルタント会社（株式会社 総合環境計画） 花田浩一、植田恵理
8. 傍聴人 なし
9. 議題
 - (1) 第 11 回環境基本計画検討部会会議録（案）の確認について（資料 1）
 - (2) 環境基本計画素案について（資料 2-1～3）
 - (3) 環境基本計画レイアウトについて
 - (4) 環境シンポジウムについて
10. 配布資料
 - 第 11 回環境基本計画検討部会会議録（案） …資料 1
 - 環境基本計画作成イメージ …資料 2-1
 - 環境審議会からの意見について …資料 2-2
 - 環境基本計画策定スケジュール（案） …資料 2-3

11. 平成 27 年度第 12 回環境基本計画検討部会

・出席者の報告 出席 5 名、欠席 2 名、定足数に達しており会議は成立

(1) 第 11 回環境基本計画検討部会会議録（案）の確認について（資料 1）

【事務局】内容に変更がなければ、委員の名前を伏せてHP上で公開する。修正箇所がある場合は本日中に事務局に連絡してほしい。

【部会長】P5の上から7行目の、「今出た意見をまとめると～」と記載してあるところの文言だが、「市民や都が絶滅危惧種などの多様な生きものの保護と調査に取り組んできました。」とある。前回の部会で議論があったように「絶滅危惧種などの多様な生きものの保護と調査に市民や都が取り組んできました。」の方が良いと思う。

（一同同意）

【部会長】他にも意見があれば、本日中に連絡してほしい。連絡のない場合は承認されたものとする。

(2) 環境基本計画素案について（資料 2-1～3）

【事務局】

・資料 2-1～3 を説明

【部会長】資料 2-1 の P7 個別目標 4 の「市全体では東日本大震災による節電意識で電力使用量低下傾向が見られます。エネルギー消費に由来する温室効果ガスの～」となっている。文章の繋がりがおかしいと思うがどうか。

【委員】「電力使用量低下傾向がみられ、エネルギー消費に由来する温室効果ガスの～」ではどうか。

【部会長】それでいいと思う。

【事務局】P8 の個別目標 5 だが、「ゴミの排出量～」については、前回の議論ではっきり決定しなかった経緯がある。再検討をお願いしたい。

【委員】前回の案では、排出量削減については触れていなかったと思う。

【事務局】前回の案では、「ゴミの排出量をさらに削減し」となっている。

【部会長】排出量はすでに削減されているので、再利用・再資源化をさらに進める方が良いという結論だったと思う。

【事務局】では資料の通りで良いか。

（一同同意）

【委員】P8 の個別目標 7 の課題の文章が体言止めになっている。他のものはそうならない。

【部会長】では「将来を担う子どもたちの環境教育を進める」、「行政と市民・事業者の連携強化に努める」、「行政による市民活動の支援と担い手の育成を図る」ではどうか。

(一同同意)

- 【委員】 P7の個別目標3の一つ目の課題はこのままの文章で良いのか。
- 【部会長】 「継続的に生きもの調査を実施する」で良いか。
- 【委員】 良いと思う。
- 【委員】 文字のフォントについてだが、前回の部会で数字の全角と半角が混在しているの、どちらかに統一した方が良く意見した。個人的には全角数字は間延びしているようで、あまり良いとは思えない。
- 【コンサルタント】 全角に見えるが半角である。現在使用しているフォントの問題だと思う。
- 【委員】 フォントの検討も必要である。
- 【事務局】 数字のフォントはいつ決定するか。
- 【委員】 数字のフォントだけ変えるのはどうか。
- 【委員】 数字はCenturyにしてはどうか。
- 【委員】 サンプルを作る必要があるが、今すぐ決定する必要はないと思う。
- 【部会長】 では、デザインを決定する際に一緒に決める方向性ではどうか。

(一同同意)

- 【委員】 P50の図にある環境ハブの図は、意図がわかりにくいと思う。
- 【委員】 注釈やコラムで他の市の事例を入れてはどうか。
- 【コンサルタント】 「環境ハブ（各主体の取り組みを調整・コーディネート）」と記述してある。さらに注釈をつけるか議論して頂きたい。
- 【事務局】 このページについては、環境審議会でも意見が出ていた。まとめて議論したい。
- 【部会長】 では、環境審議会で出た意見について議論したい。資料2-1、P21の「生産緑地の追加指定」と記載してあるところについて、「再指定」も検討してほしいと意見があった。
- 【委員】 審議会の議事録で「追加を外して記載することで検討してほしい」とあるがこれはどういう意味か。
- 【委員】 「追加指定」、「再指定」と分けて書くと、再指定について意見が出てしまう。単に「指定」と文言を変えた方が良いのではないかという趣旨である。
- 【事務局】 本件について、都市計画課から見解をまとめてもらっている。現時点では生産緑地の再指定は運用上認められていない。理由としては、生産緑地の解除を申し出た時点で所有者は営農を続ける意思がないと見なされることになっており、なおかつ生産緑地は公共施設の種地と考えられて指定されているので、解除の際に買い取りがなかったということは、公共施設の種地としても適さないと思われるので、そのような土地を再指定することはできないということである。これは所定の手続きを経て都市計画決定されたもので、安易に変更することはできないとされている。現時点では再指定は難しい。
- 【部会長】 では審議会でも話があったように「指定」と記載することで良いか。

(一同同意)

- 【部 会 長】では次の議論に移る。
- 【事 務 局】資料 2-1 の P10 について、項目の順番に意味があるのかとの質問があった。
- 【委 員】特に順番に意味は持たせていなかったが、必要があれば議論したい。
- 【委 員】変えるとすると、1 番目と 2 番目を入れかえるくらいだと思う。
- 【委 員】そう思う。無理に変える必要もないと思う。
- 【委 員】水と緑が 1 番上に来るのが良いと思う。
- 【委 員】4 つの項目の関係がよくわからない。これは第 4 章につながっているのか。
- 【部 会 長】第 4 章ではなく、第 2 章につながるものである。第 4 章と対応していると誤解されてしまう可能性があるので、順番を変えた方がいいかもしれない。
- 【委 員】生きものと水を 1 番上にして、地球温暖化は 2 番目にすれば第 2 章・第 3 章ともつながると思う。
- 【委 員】その順番の方が、一般の人が読みやすいと思う。
- 【部 会 長】もともと順番に意図はないので、今出た意見通り 1 番目と 2 番目と入れ替えることで良いか。
- 【委 員】この項目 4 つは決定しているのか。
- 【委 員】これは 1-4 から導き出された内容として記載している。
- 【部 会 長】審議会では上の文章の「整理します。」というところが、気になるとの意見があった。前のページの内容を踏まえてここに辿りつきましたという書き方をした方が良いのではないか。
- 【委 員】例えば「課題を踏まえて対応します。」などはどうか。
- 【委 員】基本方針に揃えて、上から「水と緑～」、「地球環境～」、「みんなで取り組む～」に対応した順番にして、項目数も 3 つに揃えてはどうか。
- 【委 員】そこにつなげるのはあまり良くないと思う。次のページだけつなげるのではなく、計画全体を見てほしい。一番大事にしているのは 4 番目の「進行管理～」の部分である。
- 【部 会 長】これまでの第一次計画の流れを鑑みた上で、絞られた課題がこの 4 項目である。
- 【委 員】では「進行管理～」の部分に第 5 章と対応していることを記載してはどうか。
- 【委 員】これは課題を認識するために記載しているものであり、それぞれが対応している必要はないと思う。章の成り立ちを知るためのものである。
- 【委 員】一番上のタイトルが「策定に向けた課題」となっているが、これは「策定に際して」とした方が良いのではないか。
- 【委 員】長くなるが、「第一次環境基本計画の実績を踏まえて、第二次環境基本計画に盛り込むべき課題」というのが正しいと思う。
- 【事 務 局】「課題は次のように整理します。」ではなく「課題は次のようになります。」

ではどうか。

【委員】 良いと思う。

【委員】 「向けた」の部分も検討してほしい。

【委員】 「第二次環境基本計画策定の課題」はどうか。

【委員】 良いと思う。詳しい説明は下の枠の中にある。

【委員】 下の枠内の「向けた」は「第二次環境基本計画で対応すべき主要な課題」ではどうか。

【委員】 良いと思う。違和感があるということなら、順番も「温暖化」と「生きものと水」を入れ替えることにしてはどうか。

(一同同意)

【事務局】 引き続いて審議会で出た意見を説明する。資料 2-1 の P13 について、P8 では出ていなかった個別目標 8 が出てきたことへの質問を頂いた。検討部会の議論で生まれた新たな目標として説明し、納得して頂いたが、もう少し説明を追加してはどうかとの意見であった。

【委員】 誤解を招きやすい記載の仕方は良くないと思う。この内容についてはレイアウトの方で議論したい。

【事務局】 次は資料 2-1 の P16 以降で施策に○と◎があるが、わかりにくいと意見を頂いている。○と◎について総論的に説明する部分が必要とのことだった。

【部会長】 最初のページに各主体の役割と○と◎の解説をつければ良いと思う。○と◎だけでは、読む側の意識、印象が全然違うと思う。

【委員】 ○と◎以外に表現方法がないように思う。冒頭に説明を入れてはどうか。

【委員】 ◎が中心的だとすれば、○は補助的という言葉になると思う。

【委員】 補助的だと主体性に欠ける印象がある。主体性はありながら、責任は負わないような表現が良い。

【部会長】 凡例を見ても、確かにわかりにくい。パブリックコメントでも意見が出ると思う。

【委員】 何案か作ってみるしかないようだ。

【部会長】 ○と◎の解説をつけた方が良いと思う。

(一同同意)

【事務局】 部会長の言う通り、責任のあるところに◎で、それだけではできないので、○で協力してもらおうというロジックが良いと思う。P18 の一番下では「野生動物へのえさやりで川を汚さない」とあるが、河川の管理責任は市民ではないので、◎となっているのはおかしいということになってしまう。

【委員】 野生動物にえさやりをするのは市民なので、そこは責任を持って取り組むということで良いのではないか。

【部会長】 これは河川管理の話ではなく、水を汚さないことの取り組みである。○の説明は「責任者と共に主体的に取り組む」が良いか。

- 【委員】 説明文を入れるスペースはどう作るか。
- 【委員】 コラムや写真を入れるとすると、無理に 1 ページに収める必要はないと思う。
- 【委員】 では P16 の下段に置いてはどうか。
- 【部会長】 良いと思う。「第 3 章の読み方」として掲載したい。
- 【委員】 ①と②をつなげてもいいと思う。つなげる代わりにコラムや写真を適宜入れる。
- 【コンサルタント】 その方が良いと思う。1 ページに収まるようにしていると、コラムや写真が入るところと入らないところが出てきてしまう。
- 【部会長】 その意見に賛成する。第 3 章の表の読み方というコラムを入れるということと、レイアウト的に①と②等をつなげることとする。後日、メールで確認し合うことで良いか。
- 【委員】 入れたい写真やコラムの候補もレイアウトの議論と一緒にしていきたい。
- 【委員】 確かに第 3 章の表は読み方が難しかった。○だからといって受け身ではないことを最初に説明すればいいと思う。
- 【部会長】 では次の議論に移る。
- 【事務局】 審議会が多摩六都広域連携プランを環境基本計画に記載しないのかとの質問を受けた。
- 【委員】 多摩六都広域連携プランを P9 の関連計画に入れるかどうかを検討したい。多摩六都広域連携プランは平成 27 年度までの計画のようなので、入れていいかどうかはわからなかった。
- 【事務局】 多摩六都広域連携プランの現行計画では「地球にやさしい循環型低炭素の多摩六都」という施策が盛り込まれている。これは平成 27 年度までの計画であるが、現在平成 28 年度からの計画のパブリックコメントが実施されている。
- 【委員】 市の関連計画の中に入れてはどうか。新しい多摩六都広域連携プランの内容は、環境基本計画の内容に影響するようなものなのか。
- 【事務局】 影響はない。
- 【部会長】 P9 の (2) に入れてはどうか。
- 【委員】 平成 28 年度からの計画なら新たな潮流にも合っている。
- 【委員】 (3) ではないのか。
- 【部会長】 そうかもしれない。
- 【コンサルタント】 東久留米市も策定の主体ではあると思う。
- 【部会長】 では平成 28 年度の計画を (3) に追加ということで良いか。
- (一同同意)
- 【事務局】 P50 の図にある環境ハブについて、意見を頂いている。検討をお願いしたい。
- 【部会長】 もう少し注釈を入れた方が良いのかもしれない。審議会では新しい組織を作るように見えると言われた。既存の組織でもハブになる可能性あり、また

ハブが必要であるという説明もしたが、よくわからない人もいると思う。例えば、他地域の事例を入れるなど、工夫をした方が良いと思う。

- 【委員】カッコの中をもう少し具体的に「市民・行政の取り組みを調整・コーディネート」としてはどうか。
- 【部会長】新しい組織を作るように見えてしまうのは解決していないが、各主体という表現はわかりにくいと思う。
- 【委員】要するに、実在するものかどうかということが見えない。
- 【部会長】上の説明が長すぎるのではないか。まん中の段落は不要ではないか。
- 【委員】まん中の段落はいらないと思う。
- 【委員】市民環境会議は、この図のどこにあたるのか。
- 【委員】環境ハブを志望すれば、環境ハブとなる。
- 【委員】最初は中央に市民環境会議と記載してあったが、市民環境会議に各主体を調整・コーディネートする力は今はないと判断した。NPO になれば良いが、委員が2年ごとに変わってしまう現状では難しいと思う。
- 【部会長】今出た意見をまとめると、上の文のまん中の段落は削除し、図中央のカッコの中は、各主体から「市民・行政・事業者」に変更する。
- 【委員】他市の事例を載せると良いと思う。
- 【部会長】その方がイメージがわかりやすいと思う。図を小さくしてコラムとして他市の事例を掲載する。
- 【委員】小金井市や日野市の事例を掲載すると良い。
- (一同同意)
- 【委員】P3についてだが、環境基本計画ができた年度が書かれていないように思う。
- 【委員】内容の精査をしたときに削除してしまったようだ。
- 【部会長】P3の上の文に追加する。
- 【委員】P8の計画の進め方の文の結び方が気になる。
- 【部会長】「環境基本計画が目指す将来の姿を明確化」、「目標に基づく具体的な取り組み内容の提示」、「具体的な取り組み内容を実施していくための体制・仕組みが必要」、「取り組みが評価できる指標の設定」に変更することで良いか。
- (一同同意)
- (3) 環境基本計画レイアウトについて
- 【部会長】続いて、レイアウトの議論に移る。今回の部会までに、みなさんより参考となる他市の計画を提示してもらった予定となっていた。他市の計画について意見を聞きたい。
- 【委員】京都市のデザインが良かった。色使いも上品だった。
- 【部会長】内容もシンプルにまとめられていて、良かったと思う。
- 【委員】どの計画を見ても内容は割りとシンプルなものが多い。
- 【委員】京都市は使われているフォントも良いと思う。行間も良い。

- 【委員】このフォントは通常のフォントではないと思う。デザイナーを雇うと、通常は使用していないフォントを使用している場合がある。
- 【部長】これは印刷屋に出してこのフォントにしていると思う。こちらの原稿データ的时候は通常のフォントで、印刷屋で加工した際に、このフォントになったのだと思う。
- 【委員】それは違うと思う。入稿データの時点でこのフォントにしていると思う。
- 【部長】見にくい例をあげると、蛍光色のような色を使うと文字が見えないということがわかる。
- 【委員】こういったものは、すべてプロダクションのようなところに委託していると思う。
- 【部長】あまり色が多いのも良くない。
- 【委員】環境白書はグラフにかなり色を使っているようだ。
- 【部長】これはコストがかかっているということか。
- 【委員】グラフはカラーにしても、他の余計な部分に色を使っていないので、見やすいと思う。東久留米市長期総合計画が良いと思う。二色刷りなのが良い。青と白黒に統一されている。現在のデザインは少し安っぽいと思う。一度、無駄な装飾をなくしてみしてほしい。1-4 と 2-2 の対比も考えてほしい。どちらが第二次環境基本計画なのか一目でわかるようにデザインするべきである。都市計画マスタープランはどこで作成されたのか。
- 【委員】都市計画マスタープラン策定の際は、内容や文章などを作成したあと、業者の方でデザイン案をいくつかあげてきたので、その中から選定した。
- 【委員】他の計画の作業工程も参考にして進めて行きたい。用語解説などもつけるべきである。
- 【部長】今回持ち寄った他市の計画の中で、良いものにはなにか共通点があると思う。そこから学んで、できるだけ良いものに近づけて行きたい。
- 【委員】現在のデザインから装飾をすべて消して、本当に大事な事柄にだけ最低限網掛けや枠をつけた方が良い。我々が一番大事にしているものは、第二章と第三章である。事務局に質問だが、パブリックコメントではデザインにこだわる必要はないと思うがどうか。
- 【事務局】そうである。
- 【委員】いつまでに完成に近いレイアウトにすれば良いのか。スケジュールでは 2 月から印刷・製本となっているが、具体的にはいつごろなのか。
- 【事務局】印刷には 1 カ月もかからないので、2 月中にレイアウトを決定することが目安である。
- 【部長】今までの経験上、印刷屋にレイアウトの要望を伝えてデザインもしてもらっていたがどうか。
- 【委員】私はそのような経験はない。どちらかというとデザイナーやライターがい

る業者に一括でやってもらっていた。

【部 会 長】それはかなりお金がかかりそうである。

【委 員】環境基本計画でそうする必要はないと思う。

【部 会 長】では他の計画の作業工程を調べて、だいたいどの時点で完成のレイアウトにするべきか、検討したいがどうか。

【委 員】都市計画マスタープランの際は、業者の中にデザイン部門があり、そこで対応してくれた。

【委 員】環境基本計画はそこまでできないので、デザインの大きな方向だけは決めたいと思う。コンサルタントの社内にはデザイン部門はあるのか。

【コンサルタント】社内にはデザイン部門はない。社外にも付き合いがあるのは一般的な印刷業者である。ただし、本業務の契約では印刷が含まれていない。納品は簡易製本となっている。

【部 会 長】印刷の工程では完成したデータを用意した上で、単純に印刷のみを発注するということか。

【事 務 局】そうである。

【委 員】とりあえず、装飾を外すと良い。

【コンサルタント】一度、紙面を白黒とし、かつ装飾をなしにする。

【部 会 長】それでは、シンプル版の作成をお願いします。色使いは緑系か青系が良いと思う。

【委 員】緑の基本計画が緑であるので、同じようなデザインになってしまうのではないか。

【部 会 長】緑の基本計画よりは薄い緑を使って、さきほどの例で出た京都市のようなデザインにしてはどうか。

【委 員】その意見に賛成する。緑の基本計画の紙面はどのように作られたのか。

【事 務 局】すべて Microsoft Word で作成されている。

【部 会 長】緑の基本計画を参考にしてほしい。

【委 員】緑の基本計画よりも色を少なくしてみてもどうか。

【コンサルタント】緑の基本計画をベースに色を少なめにするということで良いか。

【委 員】写真の色はどうするのか。

【委 員】写真はカラーで、レイアウトとは別に考えて良いと思う。

【部 会 長】シンプルな方が見やすい。色の統一をはかることと、強調すべきところが強調されているように修正したい。色のベースは緑で良いか。

【委 員】良いと思う。

【部 会 長】緑とグレーを基調にしてほしい。

【委 員】写真を入れると印象が変わると思う。

【部 会 長】写真、コラムの議論に移りたいと思う。3-1に入れるコラムについてアイデアがあれば意見がほしい。湧水や清流の関連ではいろいろあると思う。表紙

も案があれば検討したい。

- 【委員】まず見せたい写真のイメージを決めてしまった方が良いと思う。
- 【部会長】期限を設けてみなさんにリストアップしてもらっても良いと思う。
- 【委員】あまり写真にばかり目が行ってしまうのは避けたい。
- 【委員】図書館などにあるドブ川だったころの落合川の写真などはどうか。掲載できるかわからないが、今の綺麗な落合川と比較すると良いと思う。みんなの力でこんなに変わるということを市民に知ってもらいたい。
- 【事務局】こちらでも探してみたところ、川がブクブクしている写真が出てこなかったが、川にゴミがある写真は見つかった。
- 【委員】白黒なので、汚さがわかりにくいものもある。この写真を入れるとしたらどのページに入れれば良いか。
- 【委員】P18の「水を汚さない」が良いと思う。
- 【委員】今まで頑張って綺麗にしましたという意味ではないのか。
- 【委員】掲載場所にかかわらず、今の綺麗な川しか知らない人に見てもらいたい。ちゃんと取り組まないようになってしまうことを伝えたい。
- 【委員】私はそのような写真がある場所を知らないが、事務局では情報があるか。
- 【委員】図書館にあると思う。
- 【事務局】図書館の郷土資料室から写真を借りてきているが、そこまで汚い川の写真はない。
- 【委員】あるとすれば自由学園の映画だと思う。ひばりが丘団地から汚水が流れてきているシーンがある。
- 【委員】なにか汚い川の記録はないか。
- 【委員】今の綺麗な川にペンキが流されている証拠写真ならある。
- 【部会長】将来の環境像に載せる写真はどうするか。
- 【委員】子供が川遊びしている写真などはどうか。
- 【事務局】昔から変わらない風景というのものもある。昭和54年の川遊びの写真である。
- 【部会長】ではリストアップして、内容と合せて掲載する写真を選定したいと思う。
- 【委員】鳥の写真はバードウォッチングの会にお願いすれば集まると思う。他にも写真を探してみる。
- 【部会長】コラムはどうするか。今のところコラム掲載は、3章の読み方、省エネ機器の導入の部分である。他にあるか。
- 【委員】名水百選に選ばれるまでの経緯を載せた方が良いと思う。活動の物語を入れてほしい。わくわく川遊びの歴史について載せても良いかもしれない。
- 【委員】あまり決まった団体ばかりにフォーカスするのは避けた方が良いと思う。特定の団体を強調するのは良くない。
- 【委員】確かにそうである。市民全体の取り組みを掲載するとなると他に何かあるか。環境フェスティバルなどはどうか。

- 【委員】写真掲載にあたって、わくわく川遊びの詳細などについては少し書きづらいところがある。
- 【委員】わくわく川遊びは、川に関わるたくさんの団体が集まる大きなイベントであるので、みんなで取り組んでいるという印象がある。
- 【委員】東久留米に来て、子供が川で遊んでいるのを見て、衝撃を受けるとの話を聞く。良いPRにはなると思う。環境活動について、みんなも一緒に取り組んでいこうというメッセージが伝われば価値があると思う。
- 【部会長】市民環境会議から、なにか提供してもらえないか。
- 【委員】湧水マップはこうやって出来ましたというのはどうか。
- 【委員】コラムの候補をある程度出して、全部書けるかどうかというのはまた議論すれば良いと思う。
- 【部会長】次の会議はパブリックコメント後になる。それまでに候補と内容、執筆者を決めなければいけない。メールでやり取りして決めたい。事務局から誰かを指名しても良い。ひな形とテーマを確定して提示して頂ければと思う。
- 【委員】すべてを載せるわけにはいかないと思う。スペースの都合もある。
- 【部会長】今後の方針としては、写真も各委員にお任せするつもりだが、何枚くらい載せられるかを采配して頂きたい。今日の議論で出てきた内容が基本となるので、リストを作成して、3章の組み換えで出来たスペースとコラムの候補を見比べて、具体的に誰がどういう物を書いてどこに載せるかということをメールでやりとりしたい。事務局の方で適宜進めてほしい。
- 【委員】だいたいのスケジュールを決めたい。
- 【部会長】パブリックコメントが12月で、内容の方はある程度完成してきている。レイアウトとコラム・写真の方がまだなので11月中に本日の議論で意見の出たようなシンプル版を作成する。それと同時に写真やコラムの案を頂いて集約し、12月のパブリックコメントを頂いている間にコラムを執筆する。これが12月中までで、1月にはパブリックコメントの結果を反映するのと、最終的にまとめたものを検討部会の際に出来上がっているように調整する。この予定ではどうか。

(一同同意)

- 【委員】3章の組み換えは、なるべく早めにやってほしい。写真やコラムのスペースが早めに確認できた方が良いと思う。文章をつなげるのは個別目標の中という理解でいいのか。
- 【コンサルタント】そうである。個別目標と個別目標の間は改ページする。
- 【部会長】3章の組み換えが終われば、空いたスペースのボリュームがわかり、足りないものなども明確になる。
- 【コンサルタント】11月9日の審議会に本日の内容を反映させた資料が必要なので、来週には修正版をお送りしたい。

【部 会 長】では審議会終了後にレイアウトを検討する。

(4) 環境シンポジウムについて

【部 会 長】本日最後の議論である、環境シンポジウムについて事務局から説明をお願いしたい。

【事 務 局】

・第一次環境基本計画や都市計画マスタープラン策定時のシンポジウムについて説明

【委 員】第一次の環境基本計画の際の子供の発表は学校の先生に依頼して実現したのか。

【委 員】そうである。学校ごとに発表した。

【部 会 長】大がかりである。

【委 員】今からでは間に合わない。

【部 会 長】そう思う。

【委 員】開催日はいつだったのか。

【事 務 局】平成17年11月20日である。

【委 員】それは環境基本計画策定中という意味での開催か。

【事 務 局】そうである。

【部 会 長】シンポジウムには、例年何人くらい参加しているのか。

【事 務 局】去年が多くて、60～70人くらいであった。

【部 会 長】普通に開催しても参加者は増えないようだ。

【委 員】やはり映画などと一緒にやらないと来てくれないと思う。環境フェスティバルの参加者は多いようだが、なぜそんなに多いのか。

【事 務 局】おそらくイベント自体が浸透してきていて、色々な団体の活動が見られることが参加者の多い理由だと思う。昔は芸能人を呼んだりしていたが、最近はしていない。

【委 員】「東のくるめと隣のめぐる」の作者、我孫子佑氏に講演をお願いできないか。

【事 務 局】検討中である。

【委 員】タイミング的にも最適だと思う。

【部 会 長】著書のPRにもなると思う。

【委 員】予算内に収まるかが心配である。

【事 務 局】大丈夫だと思う。

【委 員】環境シンポジウムをイベント的にやるかどうかを検討してはどうか。前回、学校には市役所から打診してもらって、当日の運営は委員でやったと思う。どこかのNPOに参加してもらって、子供の発表をコーディネートしてもらったと思う。

【部 会 長】今から子供を集めるのは難しいと思う。

- 【委員】市民団体に発表してもらうのはどうか。
- 【委員】それは環境シンポジウムでやったことがある。
- 【委員】動員をかけるなら、市民団体に声を掛けるのが良いと思う。
- 【委員】誰に一番来てほしいかと言うと、今回のメッセージは「みんなで取り組む」ということなので、少なくとも市民の中で環境に関わるような人には来てほしい。そのような人たちが、何を用意したら集まるだろうか。
- 【委員】自身の経験から言うと、何かに呼ばれて行くとしたら、会員募集の糧になると思って参加することが多い。参加して講演すると会員になってくれると考える。
- 【委員】そうであれば、市民団体の活動紹介は良いのかもしれない。環境フェスティバルに近いかたちでの開催になる。環境フェスティバルの冬季版というイメージではどうか。
- 【委員】そこまで大がかりではなくても良いと思う。
- 【委員】一般の市民の方々を巻き込まないといけない。
- 【委員】一般の市民の方々は、我孫子佑氏の講演で来てくれると思う。
- 【部会長】市のフェイスブックで告知してもらえるのか。
- 【事務局】告知する予定である。
- 【部会長】市民団体も会員を増やす目的で参加するなら、一般市民がたくさん来ている場で発表した方が喜ぶと思う。
- 【委員】確かに市民団体だけを集めて発表しあっても、会員を増やすことにはつながらない。
- 【部会長】集客の対象については二段構えで、一般市民をどう集めるかという話と、そこに参加してもらおう団体の方にメリットを用意しないとけない。
- 【委員】農業祭パート2ではどうか。
- 【事務局】食べ物があると反応が違う。
- 【委員】今回は農家も関わりがあるので、市役所の前の広場と中で、農家のPRも兼ねて農業祭を開催してはどうか。
- 【委員】東久留米の名物といえば、煮いだんごである。商工の方では柳久保小麦のマドレーヌがある。
- 【委員】屋外は寒いので、屋内での開催の方が良いかもしれない。
- 【部会長】3月に開催される他のお祭りに合同開催を持ちかけることはできないか。
- 【委員】消費者展はどうか。
- 【事務局】12月開催なので無理である。
- 【部会長】3月になにかタイアップできるイベントがあると良い。
- 【委員】ボラ活フェスタではどうか。
- 【事務局】3月の開催である。
- 【部会長】良いと思う。

- 【事務局】現在市民プラザが空いている日を環境シンポジウムでおさえているので、
タイアップするなら日程の調整が必要になる。
- 【委員】ボラ活フェスタはタイアップさせてもらえないと思う。
- 【事務局】実行委員会形式は難しい可能性がある。新規のイベントならタイアップして
くれるかもしれない。まずは我孫子佑氏に依頼してみるが良いか。
- 【部長】ぜひお願いしたい。
- 【委員】市民プラザで即売などはできるのか。
- 【事務局】市民プラザ内では物品の販売ができない。
- 【委員】PRはできると思う。
- 【部長】東久留米で活動している作家の方が、直接市民に話せる機会としては悪く
ない話だと思う。
- 【委員】ただし、講演のテーマによると思う。環境系の話をしてもらわないと成り
立たなくなる。
- 【委員】作品では著書が東久留米の環境に触れているので、環境系の話をお願いで
きると思う。
- 【委員】直接環境の話をしなくても、東久留米の良さを語ってくれるだけでも良い。
- 【委員】漫画に描いてある内容よりも、執筆の裏話などを聞けると良い。
- 【部長】では事務局から依頼をお願いする。我孫子佑氏が来てもらえるなら、それ
をメインにプログラムを組みたい。食べ物等の出店はどこかとタイアップで
できれば良いが、できない場合はネットワークの中で出してもらえるところを
探して、さらに市民活動の紹介ができると良い。
- 【委員】フェスティバルのように広場でパネル展示をする必要はあるか。
- 【部長】広場に食べ物が出店があれば、食べながら展示を見ることもできる。
- 【委員】環境シンポジウムは例年、市民プラザ会議室で行われている。外の広場は
使用していない。
- 【事務局】現時点で広場の使用は申請していないが、市民プラザ会議室と併せておさ
えることはできる。
- 【部長】講演や座学のような時間はできるだけ短くし、交流や飲食などの時間を設
けたい。子供を連れた方などは、長時間の聴講は難しいと思う。
- 【委員】環境基本計画改定がテーマであるので、少なくとも計画の説明に30分とる
べきだと思う。さらに、講演の方に40分から1時間くらい話をしてもらおうと
すると結構な時間がかかる。これを十分に考慮してもらいたい。
- 【委員】イメージビデオのようなものがあると良い。計画の説明を淡々としても、
参加者は飽きてしまうかもしれない。
- 【委員】単なる計画の説明ではなく、第二次環境基本計画改定に至るまでの経緯や、
裏話などを盛り込めば良い。
- 【部長】パネルディスカッションではどうか。最初に短く計画の概要を話して、あ

とは裏話や大変だったことなどを発表する。

【委員】 訴えかけたいところは、第一次環境基本計画と異なっているところ、あとはみんなで取り組むということである。

【部会長】 詳細については、環境団体だけでも聞いてほしいと思う。一般市民には興味を持ってもらえないかもしれないが、参加者には冊子を配るので、理解はしてもらえらると思う。

【委員】 計画のどこかにフォーカスして発信すると良いと思う。例えば協働についてなら、それに特化した内容で進行するのはどうか。部会長に他の自治体の活動や取り組みを紹介してもらっても良いと思う。そこから、今後の東久留米の環境には、市民の協働が必要というところに繋げる。聞いて良かったと思わせる内容にしたい。

【委員】 環境基本計画自体を知らない人もいる。

【委員】 環境の活動をしている人でも、知らない人がいるかもしれない。

【委員】 そうだと思う。概要版は全戸配布されるのか。

【事務局】 全戸配布はできないと思う。

【委員】 会場に来た人には概要版を配れるか。

【事務局】 配れると思う。

【委員】 紙一枚に内容をまとめて、全戸配布することは難しいのか。

【事務局】 予算を踏まえて検討する。環境シンポジウムの日程は、3/12 か 3/26 のどちらが良いだろうか。

【委員】 3/26 は前の週が三連休である。

【部会長】 暖かい方が良いと思う。事務局は3/26 開催だとして、年度末で忙しくはないか。

【事務局】 大丈夫である。

【部会長】 屋外のイベントも考えると暖かい方がいい。

【事務局】 我孫子佑氏に講演依頼を打診してみたら、決定するのはどうか。

(一同同意)

【部会長】 確認だが、広報に載せる際に概要を載せることはできないのか。

【事務局】 長期総合計画策定の際は、概要まで掲載したと思う。

【部会長】 計画を策定するにあたって気をつけた点などを掲載してもらえると良い。

【委員】 できれば月の1日号での掲載が良い。

【事務局】 第二次環境基本計画策定よりも、環境シンポジウム開催の方が一面に持っていきやすいと思う。

【委員】 広報は市民の4割が読んでいると思う。

【部会長】 他に議論なければ今後のスケジュールを確認したい。11月9日に審議会があり、中身の最終審議を行う。その後庁内の意見照会を経て、パブリックコメントとなる。その間に水面下で最終的なレイアウトやコラム、写真の準備

を行い、1月中に検討部会を開催して最終的なパブリックコメントの結果を反映させた最終案のまとめを行い、答申となる。2月から3月にかけて印刷・製本して、環境シンポジウムの準備という流れである。今年の検討部会は本日で最後となるが、引き続き連絡を取り合って進めていきたい。事務局は調整をして頂きたい。

12. 閉会

【部 会 長】 それでは第12回検討部会を終了する。ありがとうございました。